

観音寺

標石 弘法大師二十一ヶ所 第四番 木村観音寺 文政二年三月二十一日

4 番札所（阿波大日寺） 弘法大師二ヶ所 第四番 文久三年三月二十一日（流山の石仏）

84 番札所（讃岐屋島寺） 江戸川八十八ヶ所 文久三年三月二十一日（流山の石仏）昭和 11 時同番

64 番札所（伊予前神寺） 江戸川八十八カ所 昭和 11 年時同番 銅製。

文久 3 年時には 21 カ所と 88 カ所が同時にあった。現在は 2 基とも台座がない。

流山寺

19 番札所（阿波立江寺）江戸川八十八ヶ所 銅製 昭和 11 年時は庄内屋にあり、のち移動。庄内屋は庄内領出身で龍山寺西側にあった。旅館、食堂、菓子などを業としていた。

87 番札所（讃岐長尾寺）江戸川八十八ヶ所

87 番 標柱

光明院

7 番札所（阿波十楽寺）江戸川八十八ヶ所 昭和 11 年時は常円坊にあり、のち移動。

77 番札所（讃岐道隆寺）江戸川八十八ヶ所 昭和 11 年時

旧正覚寺

板書 6 番札所（阿波安楽寺）弘法大師二十一ヶ所 明治 41 年

14 番札所（阿波常楽寺）江戸川八十八カ所 昭和 11 年時

15 番札所（阿波国分寺）江戸川八十八カ所 昭和 11 年時

19 番札所（阿波立江寺）江戸川八十八ヶ所 明治 43 年

堂内に 3 体の大師像がある。1 体は明治 43 年の 19 番、1 体は銅製で秋元三左衛門祖先供養とある。東福寺 5 項にあるように、東福寺の呼びかけにより昭和 11 年時に新たな 46 カ所の 1 つとして当所に安置したもの。1 体は札番不明。かつて堂が 2 つあり 14 番と 15 番の木札が掛けられていたが、堂内の大師像は 19 番と不明の 1 体が置かれていたのではないかと推測される。つまり昭和 11 年時に新たに指定された札番に対し、旧札番の大師をそのまま安置したと考えられる。また、明治 43 年時には 21 カ所と 88 カ所が同居していたことがわかる。

石碑 お砂回り塔

昭和 47 年 7 月、玉ノ井、山本両氏が祖先の供養塔として建立。表面には遍路姿が線刻されており、祖先供養のため四国 88 カ所を巡礼した記念塔でもある。塔の前左右の 1 番と 88 番の石にお砂と書かれている。四国霊場 88 カ所の砂を塔の回りに埋めたことを示す。塔の回りの砂を踏むことで四国霊場を巡礼したことと同じご利益を求めるもの。写よりさらに簡略したもの。お砂踏みともいう。お砂踏みには 88 カ所の砂袋を踏む行為もある。

閻魔堂

46 番札所（伊予浄瑠璃寺）昭和 11 年時 木札あり

66 番札所（讃岐雲辺寺） 昭和 11 年時 木札なし

標石 新四国八十八カ所 第二十一番 阿州大龍寺写 閻魔堂 明治三十六年三月